

## 「学校」と「夕刻を支える場」をつなぐスクールソーシャルワーカーの実践 —子どもの貧困問題をきっかけに、すべての子どもたちの「居場所」について考える—

2013年6月に「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が成立し、全国各地でさまざまな「子どもの居場所」に関する取り組みがはじまっています。今回は、家庭や学校とも協力しながら存在する、第3の居場所としての「夕刻を支える場」を先駆けて創出してきた幸重忠孝さんが語ります。

「夕刻を支える場」とは、学校や放課後児童クラブが終わってから夜にかけての時間や学校が休みの期間に、子どもたちが安心・安全に過ごせるような取組を行っている場の総称です。子どもがそこに通うことで、保護者の夕刻も安心できる時間になればという思いが込められています。

あの、仁の物語・智の物語の製作者、ゆっきーこと、幸重忠孝が語る！

テーマ：ひとりぼっちをなくす居場所づくり



安藤大志さん

ビジュアルノベル

『貧困を背負って生きる子どもたち～智の物語～』挿入歌、  
『せいくらべ』を歌詞・作曲

### プログラム

- 1 『智の物語』 上映
2. 幸重忠孝さん 実践報告
3. 安藤大志さん ミニライブ

↓↓↓ 夕刻を支える場のテーマソングの『夕刻』・『ただいま』と、智の物語挿入歌『せいくらべ』・『虹への誓い』の4曲収録。CD『夕刻を支える場の可能性』。会場で販売します。頒価 1,000 円。この機会にぜひ。



幸重忠孝さん

幸重社会福祉士事務所代表。  
滋賀県教育委員会スクールソーシャルワーカー。花園大学、龍谷大学、京都橘大学非常勤講師。

日時：2016年11月24日（木）19:00（受付 18:40）参加費：無料

場所：大阪国際会議場（グランキューブ大阪）会議室 1004（10階に直接お越し下さい）

〒530-0005 大阪市北区中之島5丁目3-51 (<http://www.gco.co.jp/>)

京阪電車中之島線「中之島（大阪国際会議場）駅」（2番出口）すぐ

定員：80名（先着順。定員に達し、ご参加いただけない場合のみ連絡させていただきます）

申込み：件名に、「11月企画申し込み」とお書きのうえ、①氏名、②所属、③職種、④メールアドレス（PCアドレスからのメールを受信できるもの）を下記アドレスにお申込みください。

[jaspcan@sswnet.jp](mailto:jaspcan@sswnet.jp)

主催：スクールソーシャルワーカーズ・ネットワーク（SSW-Net）